

大西支所 おでかけ市長室 質問・回答要旨

開催日・場所 令和4年10月3日(月) 18:30~20:00 大西公民館 3階大会議室

No	項目	意見要旨	回答要旨 (今後の対応を含む)
1	地域のICT化、DX化について	<p>九王部落から情報発信の手段として何か方法がないか「市民が真ん中相談センター」に相談し、LINEの公式アカウントを教えてもらった。9月からLINE公式アカウントを立ち上げ、現在は無償テスト期間であるが、ユーザー数が増えて配信の量が増えてくると有料化になってしまうのでお金の面と、運用の面のサポートをお願いしたい。</p>	<p>○地域の情報を紙媒体ではなく、LINEなどを使って、すでに考えていただいている。この大西地域で成功すれば、12の家族、市全体でも十分に対応ができる。予算措置にふさわしいものなのかどうか、検討をさせていただきたい。</p> <p>○自治会のデジタル化に関してはLINEの活用も然り、その他にも民間事業者が提供している自治会専用アプリケーションがある。またLINEの活用方法やスマホ教室を、携帯キャリアさんと協力のもとデジタルデバイド対策として実施している。ご希望あれば未来デジタル課までご連絡をいただきたい。</p> <p>○予算措置については今後、検討したい。なお例年8月に、今治市連合自治会から市内の各単位自治会に対し「単位自治会運営費」を交付しており、自治会活動のために自由に使っていただくことを目的としているのでご活用いただきたい。</p>
2	大西から波方にかけてのサイクリングコースの整備及び観光名所の情報発信について	<p>星の浦海浜公園から来島どっく、鴨池池海岸、九王海岸、小部、西浦そして、大角海浜公園を通して、来島のドック群をサイクリングコースとして作ってほしい。海岸線にドックが点在、大きなクレーン、大きな船と今治らしいコースになると思う。</p> <p>また、鴨池海岸のほか鳶鴉山の展望台その途中にある桜の名所九王海岸、海の中にある鳥居、神社、祭りのときには動く船の上での四継ぎと、観光名所が集まっている。情報発信をしていただきたい。</p> <p>大西、今治市が有名になって、価値が上がってくれば子供たちがUターンで戻ってくる、Iターンで移住者が増える、新しい産業がやってくると、いうことに繋がっていくといい。ぜひお願いしたい。</p>	<p>○どう陸地部を売り出していくか、今まさに検討を開始しようとしている。こういうコースがいいよとか、こういういいものがあるよというのをぜひ、市にご提案をいただきたい、皆さんと一緒に色々考えさせていただきたい。</p> <p>○色々な制度があるので、トライ＆エラーの中で、まず皆さんが立ち上がっていただいて、私どもはしっかりと伴走支援をしたいと思っている。</p> <p>○サイクリングコースの整備は、地域のPRの1つのツールとして重要なものと考えている。地元の方のいろいろな提案を参考に陸地部のPRの方法を検討してまいる。</p> <p>○地域によっては、隠れた観光地の抽出やPRを行っていただいていると聞いており、市としてもそのような取り組みに利用できる支援メニューを紹介させていただくと共に、今治市の観光コンテンツとしてPRすべきものについて、観光パンフレット等で発信していきたいと考えている。</p>

3	<p>産業振興・観光振興の推進</p>	<p>越智商工会は大西、波方、菊間地区の、ほぼ小規模事業者がほとんどで、皆様このコロナ禍に翻弄されて先が見えないゆえの廃業が相次いで続いている。しまなみ海道を活用して、より力強い、マルシェなどの観光のきっかけをどんどん作っていただいて、活気あるまちづくりをお願いしたい。</p> <p>若さはすごく大事だなと市長を見て、すごく感じる。どうかよろしく願います。</p>	<p>○事業継続に向け、支援金や協力金など色々やっても抜本的な手になってない。新しい分野に挑戦をする、ロボットの対応をするなどいろんなことを想定しながら、課題解決の事業を考えている。</p> <p>○原材料がすごく上がって、もう事業が成り立たないというような声なき声があれば、お聞かせいただき、予算措置に向かわしていきたい。すぐに意見交換させてもらうので、引き続き、よろしくお願いしたい。</p> <p>○資金繰りが苦しい、物価高騰が価格転嫁に追いつかない、後継者がいないというような事情は、各事業者様によって様々であると思われる。今後、コロナ対策のフェーズも変わってくるなかで、原油・物価高騰の状況、国や県の追加支援策等を十分に勘案しつつ、地域の課題やお困りの方々に、しっかりと光が届くような政策推進に努めてまいりたい。</p> <p>○当市にはしまなみ海道を筆頭に魅力的な観光コンテンツがある。それらを磨き上げ、どのように発信して誘客につなげていくかということが市の役割であると考えており、引き続き積極的に今治市の観光についてのPRをしていきたい。</p> <p>また、せとうちみなとマルシェについてはぜひ地元事業者の方にも参画いただき、活気あるものにしていきたい。</p>
4	<p>結婚に対する取り組みについて</p>	<p>愛結びの事業が現在どうなっているのお尋ねしたい。</p> <p>少子化対策として、出会いの場の少ない方に対して、行政の方で結婚を勧めるというような事業に取り組んでいただきたい。</p>	<p>○R4年度は、大西公民館を会場として「愛結び」を年60回開催している。</p> <p>○R3年度の実績</p> <p>「愛結び」年48回開催、引合せに至ったカップルが136組、引合せ後交際に至ったカップルが51組。</p> <p>「de愛イベント」はセミナーを1回開催し男性13名女性7名が参加、お見合いイベントは4回開催し男性53名女性42名が参加、20組のカップルが成立した。</p> <p>愛結びやイベントをきっかけに成婚に至ったと報告のあったカップルは6組。</p> <p>○新型コロナウイルスの流行により、婚活もオンライン化が進んでいる。実際に会うもの、オンラインで行うもの。需要とバランスを見ながら今後も事業を続けていきたいと考えている。</p> <p>○今一度、若い方々のニーズをしっかりと見極めながら、リニューアルに向けて取り組みをしていきたい。</p>

5	農家の法人化による農地、農家、農業の保全について	<p>全国的な課題であるが農業は、農業だけで飯が食えない現状に、就農が進みづらく、絶対数で後継者不足の状況。これからは魅力ある農業を構築する必要がある。</p> <p>個人農家等が法人化をすることによって、農地を守り、農家を守り、農業を守る形がつかれるのではないかと。農業を守り育てる基盤整備を考えてほしい。</p>	<p>○虫食いのように増えていくであろう耕作放棄地を一つにまとめて、農業法人を作る、あるいは企業参入することは、大きな問題提起の一つになる。JAにも理解をいただける大きな取り組みではと思う。一方で、線引をして、農地を宅地に変えて欲しいという話もたくさんある。</p> <p>○新たな農業の担い手として企業の農業参入について検討しているところ。また、新たな集落営農組織を育成し、これまでの地域の中心的な担い手に加え、新たな担い手が営農することによって農地の維持を目指している。</p> <p>○担い手と農地のマッチングや新たな担い手の育成については、県や農業協同組合等関係各機関と協力しながら進める。</p> <p>○様々な方々と連携をし、政策を総動員をしながら、少しでも衰退するスピードをゆるめる努力をしたい。</p>
6	高齢者の見守りについて	<p>大西地区婦人会では、独居の高齢者のために、一月に二回、配食サービスを行っている。配食することだけが目的ではなく、独居の高齢者なので見守りを兼ねている。</p> <p>高齢者のために何かできることはないかなということで婦人会も頑張っている。</p>	<p>○今治市、社会福祉協議会、民生、いろんな方々が一体となって、しなくてはならないものと理解している。コロナ前は、活動原資として収益を上げて様々な事業を行っていたと思うので、難しいところがあれば、相談いただければと思う。</p> <p>○コロナ前は、各団体が年間を通じて多くの事業に積極的に参加され、また、地域イベントも皆さんの参加を大きな力として頼りにしていた。しかしこの2年間の活動自粛が、団体の活動意欲をそいでいった側面は否定できない。</p> <p>○団体への交付金（補助金）については、各クラブによって活動状況が様々であることを考慮しながら、活動を後押しできるあり方を検討してまいりたい。</p> <p>○婦人学級や地域ふれあい推進事業などを通じて地域の女性の活動や学習機会を推進している。婦人会会員の高齢化は担当課も認識しており、今年度は地域社会の中で若い女性が活動できるよう支援するため、地域女性リーダー育成事業として講演会や勉強会を実施する予定。</p>
7	高齢者の生活のための交通の確保	<p>九王部落は、もうバスが通ってないためお年寄りも交通の便が悪いと思った。先日、敬老会のハガキをもらっている高齢者が、「往復ハガキを出しに郵便局さえもいけませんよ」と言っているのを聞いた。</p> <p>高齢者世帯、独居世帯で免許返納後の足の確保として他県ではコミュニティーバスなど様々な取り組みをしているが今治市の取組はどうか。</p>	<p>○地域のニーズに合った移動手段としての公共交通の維持確保のため、路線バスの廃止・縮小となった朝倉、吉海地区において代替交通を運行し始めたところである。この問題は顕在化しているので市内の各所で検討している。</p> <p>○近隣に路線バスやJR駅のない地域が、九王地区を含め市内各所にあり、さらには運転免許返納後の生活の足に不安を感じている方もおられる。朝倉、吉海地区の例のほか、全国他市町の先進事例や新たな交通モビリティの可能性について調査研究し、地域のニーズに適した移動手段について検討してまいりたい。</p>

8	<p>サポートカー購入補助金について</p>	<p>今治市の老人クラブの役員会に、警察署の交通の担当の方からサポートカー限定免許の話を受けた。しかし、サポートカーは令和3年度以降の車にしか対象にしていなくて新車を購入する必要がある。購入費用の補助はできないか。</p>	<p>○交通指導員の会は組織的には非常に大きな組織のため、いろいろな成功している例をお聞かせいただき、大西の問題や今治各地の問題の解決につなげたい。</p> <p>○サポートカー購入への補助については、令和元年度途中から3年度途中まで、65歳以上の高齢者を対象に国が補助を行っていた。車への自動ブレーキの装着は、新型車は令和3年11月から、継続生産車も令和7年12月から義務化され、今後サポートカーの普及が進んでいく。サポートカー限定免許やサポートカー購入に対する、国の動向や他自治体の事例も注視しながら、検討していく。</p>
9	<p>戦没者追悼式への学生の参加について</p>	<p>学生さんや小さい子どもさんにも追悼式に参加していただき、平和への思い、次の世代へ、この平和を次々送っていただきたい。</p>	<p>○平和を願う、平和思う子供たちの心の育成ということは本当に大事である。</p> <p>○今治市は、空襲が3回もあったにもかかわらず、それを平和教育としてしっかりとお見せをする資料館といった場所がない。なかなかスペースの問題はあるが、常設展に向けいろんな公の施設のあり方の中で、検討していきたい。</p> <p>○平和学習については、今後も引き続き、学校教育の中で、発達段階に応じて、系統的に継続して行っていく。</p> <p>○私たちは、戦争の悲惨さ、愚かさを心に刻み、この記憶を風化させることなく、平和への思いを次代を担う子どもたちに引き継いでいく努力をしていかなければならない。今後の追悼式のあり方については感染症等の状況や学校規模や実態、地域の要望なども踏まえ、教育委員会とも連携・協議して、検討していきたい。</p>
10	<p>交通指導員の不足について</p>	<p>30年ほど前に入ったときは、16、7人いたように思いますが、会員の高齢化により減少し、現在は11名となっている。新たに交通指導員に入ってもらおうと勧誘には行きますが、なかなかよい返事はいただけない。何か加入してもらえれば、いい知恵を貸して欲しい。</p>	<p>○交通指導員の人員確保については、市内各地区共通の課題である。交通指導員部長会の中で各地区の状況を共有し、いろいろな事例を調査するなどして、共に検討していく必要があると考えている。</p>
11	<p>児童館の新設について</p>	<p>大西地域活性推進協議会がきっかけで、子育て支援を事業に活動しようとしてNPO法人、輪い和いを平成23年6月に発足し、11年目迎えた。</p> <p>利用者も年々右肩上がり、伸びてきており、将来に向けて持続可能な母体づくりに励みたいと思っている。</p> <p>現在は、旧町立の幼稚園跡で活動をしているが、建物が40数年経過し、維持管理しながらの使用は、もう限界になっているのかなと思っている。児童館の新設をお願いしたい。</p>	<p>○地域の子育ての拠点として活動をしていただいておりますことに敬意を表したい。</p> <p>○子育て支援というのは非常に力点を置いて、持続可能な今治を作っていくためにしなくてはと思っている。また、お親御さんの声を聞いたときに、魅力ある公園づくりもかなり高い優先度として上がっている。児童館においても拠点を作るのか、それとも空いているスペースを使うのか、民間の発想でやらせていただきたい。</p> <p>○地域子育て支援拠点輪い和いが活動している旧大西幼稚園については、ご指摘のとおり築年数がたっており、輪い和いさんより不具合の申し出もあり今年度給水管の修繕も行った。</p> <p>○こどもが真ん中親会議で、輪い和いの利用者は園庭で木登りなどを楽しんでいると伺った。広い庭園で伸び伸びと遊ぶ体験など現施設の活用とともに、今後の拠点単独あるいは複合による施設整備について、子育て支援策の中で慎重に検討したい。</p>

12	国道の4車線（片側2車線）化及び歩道の整備について	大西は朝晩通勤車両が多い。国道の管理は国交省の管轄になるかと思うが、国道の4車線化、子供のために歩道の整備をお願いしたい。交通の便も結構スムーズになると、子供の通学路整備も十分にできるかなと個人的に考えている。	<p>○4車線化にしてもらいたいという話は初めてお伺いした。</p> <p>○行政任せではなく、例えば、地域の企業も、この道を広げることによって定量的にこういうふうなメリットがある、という声の盛り上がりを作ることが一番大事だと思う。</p> <p>○今後地元の4車線化の機運が高まり要望いただければ、市としても、地元と協力し国交省へ要望を行って行きたいと思う。</p> <p>○通学路整備（歩道の整備）については、学校と協力しながら子供の安全確保に努めてまいる。</p>
13	通学路の安全について	交通安全協会で見回りをしていた時、通勤の車の数がすごく多く、自転車と通学している子供が、すれすれで車の横を通ってるのを見てとても危険に感じた。	<p>○通学路で危ないところは、国道でも県道でも市道でも、支所長へお伝えいただきたい。</p> <p>○危険箇所については学校とも情報共有し、関係課や関係機関と相談しながら、今後も対応していきたい。具体的な場所をご指摘いただければ、今治市通学路安全推進協議会等において協議したり、学校とも相談したりしながら安全対策を図っていきたい。</p>
14	国道196号線と県道15号線を通学路の危険箇所のガードレールやグリーンベルトを設置するなど安全対策について	大西小学校では、主に国道196号線と県道15号線を通学路として使用しているが、来島どっくや鉄鋼団地に通勤される方が多く交通量が多い。今治市の通学路交通安全プログラムにより定期的な点検と対策をしていると思うが、昨今危険な事故もあるので、ガードレールやグリーンベルトを設置するなど安全対策ができないのか。	<p>○昨年の千葉県八街の事案を受け、県下も通学路の安全安心について調査している。私が教育委員会から聞いているのは64カ所あり、今できるものはすぐに、地権者との協議が必要なものについては、遅滞なく行っている。グリーンベルトとかGETゾーンとか、色々あるが、必要かどうかというのは、支所を通じて確認させていただきたい。</p> <p>○愛媛県警が路面表示をしているが、絶えず把握し、早め早めに要望していただきたい。</p> <p>○通学路は、毎年危険箇所の点検を行っている。国関係、県関係、市関係、警察関係、学校関係、教育委員会関係など、提出された箇所を一緒に点検に行く。関係者で集まり、みんなで知恵を出しあって、できることを話し合っている。学校を通じて、通学路に関して「危ない箇所」を挙げていただきたい。</p> <p>○簡易な修繕などであればすぐに対応できることもある。緊急事案も含めて学校とも情報共有しながら、上がってきた事案については、関係課や関係機関と相談しながら、今後も早急に対応していきたい。</p>
15	中学校の休日の部活動の地域移行について	今後中学校の部活動に関し、今治市の方針を聞きたい。また、PTAとしてどのような準備をしていたらよいのか。	<p>○基本的に3年間で土日については、地域に部活動を移行する方向で協議している。受入れ先は、スポーツ協会に登録している各競技団体で、受入れ方法について協議している。具体的な方法については、結論が出ていない。愛媛県とも協議し、全国的な事例を探し、現場の方と話し合って決定したい。</p>

16	<p>大西中学校の不登校生徒と不登校予備軍について</p>	<p>子供たちへの支援とその対策があれば教えてほしい。小学校までは、輪い和いで積極的な子育て支援活動をしているが、それ以降に活動の場がないが、何か良い方策があれば教えていただきたい。</p>	<p>○不登校及び不登校傾向の子供たちについては、喫緊の課題であると認識している。学校には行けるが、教室に入れないという児童生徒もおり、各学校で保健室等、別室での登校や指導など、個別での支援を行っている。</p> <p>○学校に行けな児童生徒も含め、昨年度から一人一台のタブレットがあるので、家庭でも学校の別教室でも自教室の授業をオンラインで受けることができるようになっている。また今年度より、『愛と心をつなぐ不登校対策事業』として、不登校傾向の児童生徒が多い中学校2校、小学校2校に、不登校支援員を配置する不登校支援モデル事業を開始している。不登校児童生徒の状況に応じて、他校へ拡大していきたいと考えている。</p>
17	<p>鴨池公園の整備</p>	<p>土日や連休前に、車が駐車場から溢れ、路上駐車している状態である。駐車場に隣接し市に寄贈された土地の駐車場整備の進捗状況についてお聞きしたい。</p> <p>人が大勢来る割にはあまりトラブルもなく推移しているが、ことが起こってからでは遅いので、防犯カメラの設置を早めに対策をしていただきたい。</p>	<p>○鴨池海岸公園の駐車場整備については、現在公園緑地課が環境省及び愛媛県と協議しながら、令和4年度末までに行う予定。</p> <p>また、鴨池海岸公園へのWi-Fi設置のための光ケーブル敷設についても、環境省、愛媛県及びNTT西日本と協議しながら、令和4年度末までに開通させる予定。</p> <p>さらに、鴨池海岸公園への防犯カメラの装置については、令和5年度中の設置に向けた検討を行う予定。</p> <p>○今年度から自治会で防犯カメラを設置する場合、上限を30万円とした設置に係る費用の9割の額が今治警察署から補助される制度を実施している。自治会で独自に防犯カメラを設置する場合はこの制度を利用する方法もあり、市民参画課にご相談いただきたい。</p>
18	<p>今治市消防団について</p>	<p>今治市消防団では詰所の火災、団費の不正使用などの不祥事があったが、大西方面隊は、不祥事を払拭するため、普段の訓練はもとより、支所だよりに活動報告を掲載し、消防団の名誉回復に努めている。</p> <p>活動費の増額、消防施設の更新ありがたい。</p> <p>私ども消防団員は、使命を今後とも全うしていく。一層のご協力をお願いしたい。</p>	<p>○様々な支援メニューがある。機器の更新、こいうふうなものがあつた方が消防力が上がる等、ご提案をいただけるようお願いしたい。</p> <p>○消防団員さんが、安全に災害活動ができるよう、機械器具及び安全装備品の整備を計画的に進めさせていただく。新たな提案や要望に対しても消防団理事会で協議して、優先順位と予算状況を考慮しながら進めてまいりたい。</p> <p>○本市消防団の不祥事による市民への信頼回復と綱紀粛正については、消防団理事会を通じ団長から全方面隊をお願いをさせていただいている。また、消防本部では今回の分団管理金の不適正な取扱いについて、再発防止対策として、消防団幹部を対象に研修会を計画している。</p>